

# 大阪府下における高齢運転者による交通事故の発生状況と特徴について

(令和元年12月末現在)

大阪府警察本部交通部 高齢運転者等支援室

## 1 高齢者免許人口

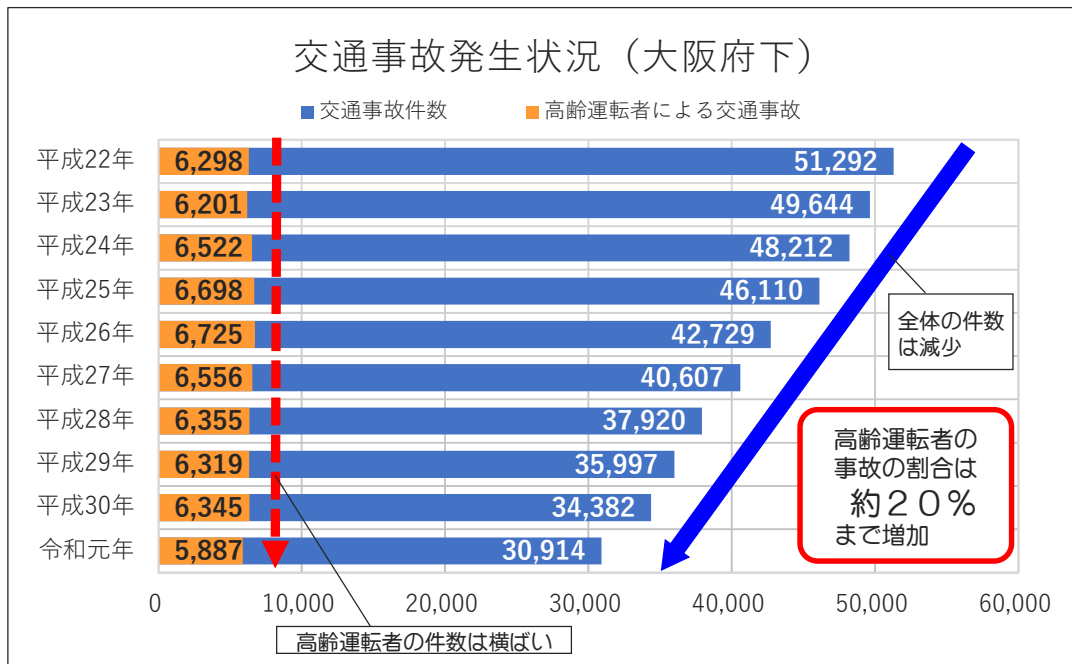
総免許人口は微増で推移していますが、高齢者（65歳以上）免許人口は大幅な増加傾向を示しており、全体に占める割合は約2割になります。

	平成22年		令和元年
総免許人口	5,042,009人	1%微増	5,116,827人
高齢者免許人口	677,042人	36%増加	922,855人
全体に占める割合	13.4%	約2割へ増加	18.0%

## 2 高齢運転者による交通事故件数

交通事故全体の件数は減少傾向を示していますが、高齢運転者による事故は減少率が少なく、全体に占める割合は約2割になり、年々増加しています。

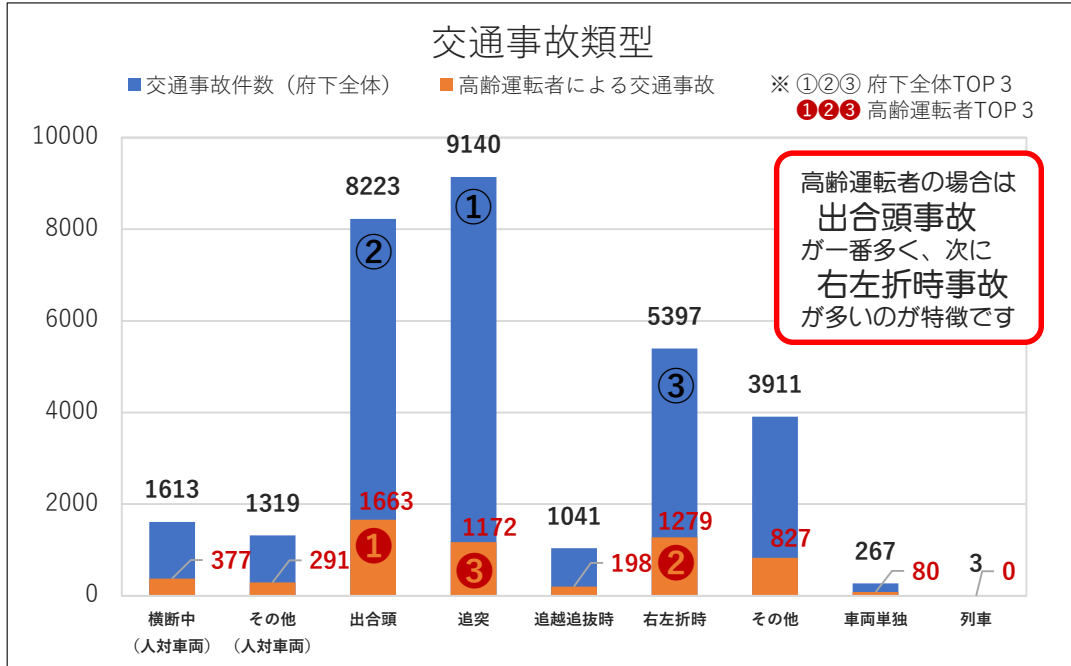
	平成22年		令和元年
事故件数	51,292件	40%減少	30,914件
高齢運転者による事故	6,298件	6.5%減少	5,887件
全体に占める割合	12.3%	約2割へ増加	19.0%



### 3 高齢運転者による交通事故の特徴

#### (1) 類型別

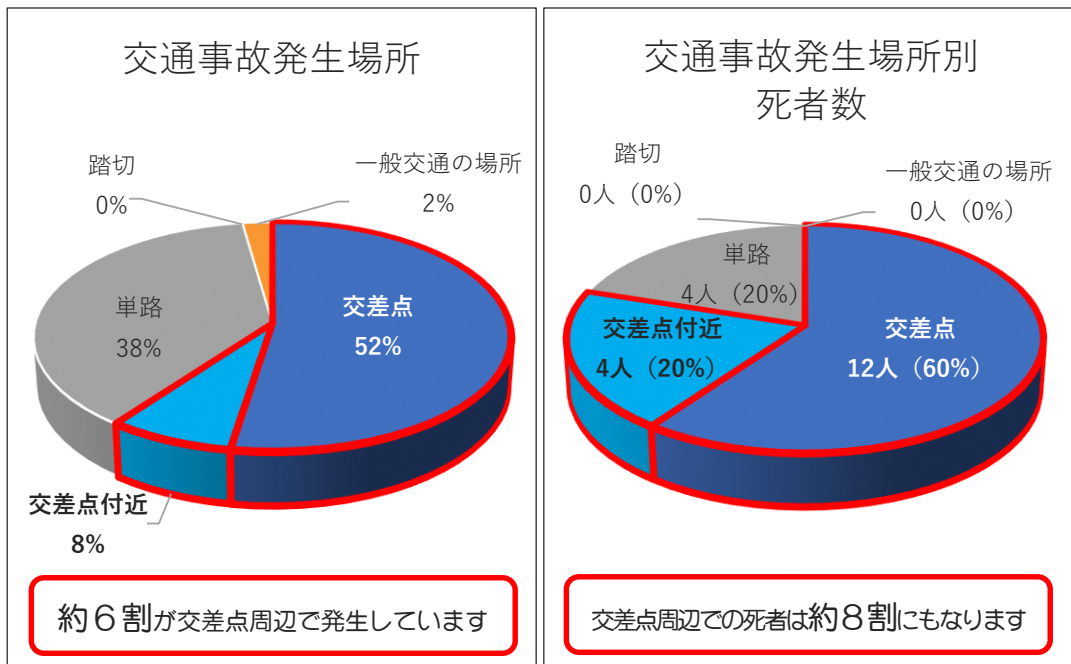
交通事故全体では追突事故が最多となりますが、高齢運転者による交通事故では、出合頭事故が最も多く発生しており、続いて右左折時事故、追突事故の順で発生しています。



#### (2) 場所別

出合頭事故と右左折時事故が多いことから分かるように、高齢運転者による交通事故は、約6割が、「交差点」及び「交差点付近」で発生しています。

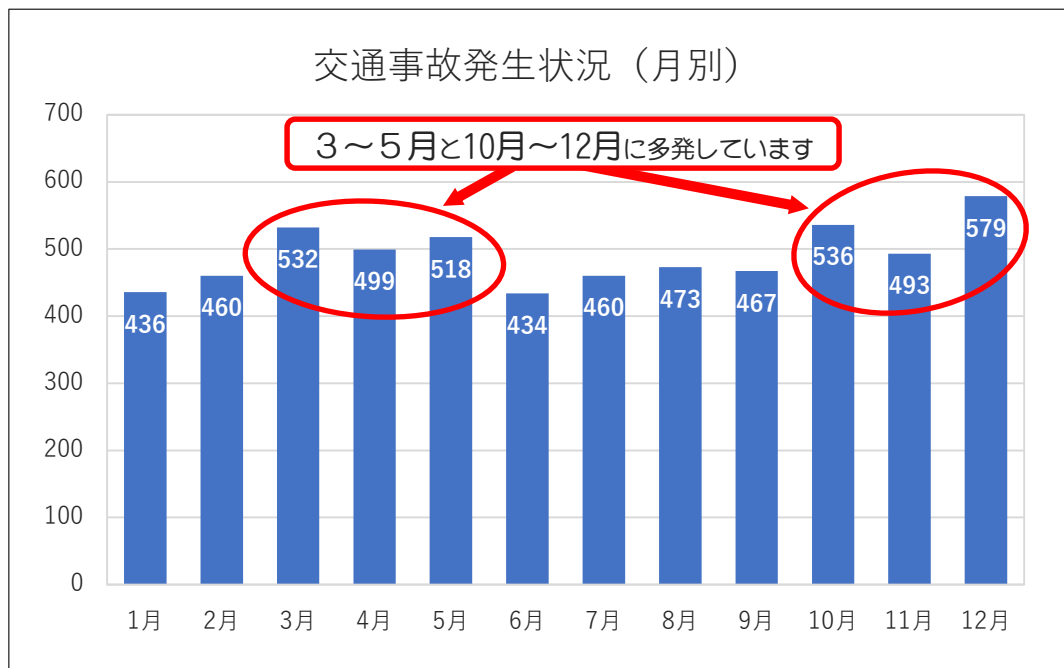
また、死者数から見た場合では、「交差点」及び「交差点付近」で約8割の人が亡くなっていることが分かります。



(3) 月別

高齢運転者による交通事故は、毎月400件以上発生しています。

中でも3～5月、10月～12月に多く発生しており、特に12月は1年を通して最多となっています。



(4) 時間帯別

高齢運転者による交通事故は、朝の時間帯である8～12時と薄暮の時間帯である16～18時の間に多発しています。

夜間帯（18時～6時）は発生件数は少ないものの、件数における死者数の割合が高くなり、死亡事故の発生率が非常に高くなっています。

